

女性のためのステップ相談(女性活躍相談)の実施【芦屋市】

個別事業費	5,275 千円
交付金額	2,500 千円

地域の実情と課題

本市の総人口は減少傾向であり、年少人口(0~14歳)は年々減少し、令和6年12月末では人口の約11.4%となっている。本市では、社会環境の変化に応じた就学前教育・保育施設の整備や子どもたちが放課後などを安全・安心に過ごせる居場所づくりなど仕事と子育てを両立できる環境整備を進めているが、令和3年実施の芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査では、希望に応じた働き方の実現や、能力が十分に発揮できる環境の整備が課題であることがわかった。

目的・目標

就労や起業等を考える女性に分野横断的に子育て支援や教育・福祉等を含めた必要な情報を提供し、地域活動も含め希望する女性の活躍を支援する。相談件数は、目標を50件以上としていたが28人で目標は達成できなかったが、昨年度の21件よりは増加した。また相談者のうち、再就労・起業等につながる人数は3人以上を目標としていたが、4人で目標達成となった。

事業の特徴

女性活躍コーディネーターによる常設の再就労・起業等の相談窓口を身近な市の男女共同参画センターに一時保育付きで設置している。常時オンライン相談可とするほか、相談者のご希望に沿った相談時間にご相談いただけるよう、相談日を拡大して実施。単発での相談にせず、望む活躍が叶うまで継続して支援を行う。また、芦屋市の独自性として仕事・職場での活躍だけにとどまらず、地域活動などの活躍も支援。本事業の周知拡大のため令和4年度からは「女性のためのステップ相談」という愛称をつけ、相談内容の事例を市ホームページ上で紹介

連携団体

芦屋市商工会、芦屋市女性活躍推進会議の委員所属先、兵庫県立男女共同参画センター、ハローワーク西宮、日本政策金融公庫、芦屋市男女共同参画団体協議会、ひょうご仕事と生活センター、芦屋市立あしや市民活動センター等

事業の効果

再就労や起業などを考えている相談者について、第1歩を踏み出すことにつながったほか、事後アンケートにより利用者の満足度は高い。7年度の相談件数は目標(50件以上)に達せず、28件であったが(令和6年度は21件)身近な市の男女共同参画センターで気軽に相談できるということが相談者にとって今後の活動へのきっかけとなっている。

今後の課題

女性活躍コーディネーターによる常設の女性のためのステップ相談(女性活躍相談)は、目標件数には達しなかったが、昨年度より相談件数は増加し、相談者の満足度は高い。本相談事業についての更なる周知は必要であるため、様々な機会をとらえて周知に努める。さらに、再相談やオンラインでの相談も引き続き実施し、より相談しやすい工夫に努める。

事業の概要

